

平成31年度教育実施計画

学校法人東粉浜幼稚園

1. 本園の教育目標

本園では、めざす子ども像として「いつも健康でがんばる子ども」「自分から進んでする子ども」「あたたかい心でみんなと力を合わせる子ども」を設定し、子ども達の「おもいやりの心と活動する意欲」を育てることを目標にしている。

2. 本年度重点的に取り組む具体的な目標と計画

- ① 全教職員が本園の建学の精神と68年に及ぶ歴史と伝統に立ち返り、新教育要領の内容理解を真摯に受け止め、日々の保育の具体化を図っていくことは極めて重要である。
- ② そこで、全教職員の共通理解の場を持ち、目標達成のための具体的な方策・計画を設定することにした。

3. 評価項目の達成及びそのための取り組み計画

評価項目	実施計画
幼稚園教育要領をふまえ、園児の実態に即した本園の指導計画を作成する。	1. 年度末の反省と改善点をふまえ、各歳児の指導計画を作成する。 2. 指導計画を基に日案を各担任が作成し、日々の記録を残し、反省点を生かすようにする。 3. 主任・園長が点検し、指導・助言を積極的に行う。
安全管理・安全指導の充実を図る。	1. 徒歩通園の安全については、担当教諭、当番保護者との連携強化等、特段の配慮をする。 2. メール配信システムの有効活用により、園から各家庭への発信がより早く周知・徹底するようにする。 3. 地震・津波の発生等、災害時における子どもの安全確保のための訓練を計画的に行い、安全に避難できるように指導を徹底していく。本年度はさらに弾道ミサイル発射時の対応についても訓練していく。(保護者への周知含む)
子ども理解に努める。	1. 各学期ごとに子ども理解研修会を行い、全教職員で子ども理解に努めるとともに課題を共有するようにする。 2. 引継ぎがスムーズに行われるように、個人情報保護を視野に入れ、引継ぎ簿の充実を図る。 3. 個々の育ちを大切にされた個別の指導計画を作成し実践するとともに、点検・反省の場を定期的に行う。 4. 執行理事(発育・発達カウンセラー)を中心とした教育相談の充実を図り、幼稚園・家庭とが共通理解のうえに子ども理解に努めていく。

<p>教職員研修の充実を図る。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 園の課題を明確にし、課題解決を図る実践研究を各学級、ポジションにおいて積み上げていく。(社会性) 2. 長期休業中等には、教職員自らが研修内容を主体的に選択し、進んで受講できるように、園外研修の充実に努め、周りの教職員へ広める機会をつくる。
<p>質の高い保育の提供と国際的な視野に立つ保育の実施に努める。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 感性を育む描画造形、音楽教育には、従来通り、専門講師を招聘し、担任も指導技術を磨く場とする。 2. 国際化の時代を鑑み、外国の人、文化に親しみを持つように、三歳児より英語指導に取り組む。 3. 子どもたちが身につけた力を生活発表会などで発揮できるようにする。
<p>地域交流の活性化に努める。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域主催の体験イベントへの保護者・子どもの積極的な参加を促す。大人のしかけであっても地域連合会主催の運動会、住吉区文化発表会などで、幼稚園のチアリーディングのパフォーマンスを行うとともに、中学校の吹奏楽とコラボレーションを企画し実践する。 2. 隣接する小学校を中心に中学校との連携を図る。(災害訓練、遊び、運動会、音楽交流会、中学生による職場体験等) 3. 小学校の運動場・芝生のうえで、からだを思いっきり開放して、遊べる機会を意図的・計画的につくるようにする。(小学校と芝生養生管理委員会の理解・協力)
<p>保育環境の整備に努める。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自然とのふれあいの環境づくりを工夫する。(花壇、屋上菜園の充実等を図り、花や野菜に直接ふれる機会を通して、生命に目を向けさせるようにする。) 2. 文化とのふれあいを鑑み、児童図書等の整備を図り、積極的な活用を促し、美しく丁寧なことばにふれる機会を多くもつようにする。 3. 屋上の芝生管理に努め、遊び場所の一助とする。
<p>子育て支援活動の充実を図る。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 未就園児を対象にした親子教室「ポッポちゃん教室」、「ピヨちゃん教室」「園庭開放」、子育てに関する何でも相談窓口「教育相談」の充実を図る。 2. 特にニーズの高かった「ピヨちゃん教室(満3歳入園)」の取り組みは、未経験の分野であるだけに慎重に行き届いた保育をするとともに「土曜日の預かり保育」、放課後事業「のびのび教室」も積極的に行う。 3. 課外保育の「チアリーディング」「体操教室」「絵画教室」等の充実を図る。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果
教職員一人ひとりが本園の保育方針を認識し、保育の充実を図る。

結 果	理 由

5. 今後取り組むべき内容

課 題	具 体 的 な 取 り 組 み

6. 学校関係者評価委員会の意見

平成 31 年 月 日